

「御霊によって罪を殺し、新しい恵みに生きる」コロサイ3：5－11

I 先行する神の恵み

1. 主は、私達を愛し、私達の救いの為に、私達の罪「不品行、汚れ、情欲、悪い欲、そしてむさぼり」：5、「怒り、憤り、悪意、口から出る恥ずべきことば、偽り」：8，9の為に、十字架で身代わりに刑罰を受けて下さった。感謝します。
2. 私達が、主を信じた時、聖霊なる神は、私達の心に住まわれ、新しい性質を与え、日々、主の姿に変え続けて下さる。感謝します。
3. 三位一体の神は、私達に義認・聖化・栄化（：4）の驚くべき恵みを与えて下さる。

II 素晴らしい神への私達の応答

1. 主が再臨され、完全に主の姿に変えられる栄化（：4）まで、私達は、この地上では、からだ、心の中に罪が残っている。「ですから、地上のからだの諸部分、すなわち、不品行（原語：あらゆる不義の性交）、実際の行動だけでなく目や心の思いで罪をすでに犯している、汚れ、情欲、悪い欲、そしてむさぼり（原語：貪欲、欲深。受けても受けても感謝せず、満足せず要求する欲）を殺してしまいなさい。このむさぼりが、そのまま偶像礼拝（偶像礼拝とは、神以上に何かを大切にし、何かに執着すること。むさぼりとは、神以上に自分の欲に執着し、自分の悪い欲、貪欲を自分の神とする事）なのです。このようなことのために、神の怒りが下るのです」：5。神は、罪に対して正しい怒りを持っておられる。私達が、自分の罪を神に正直に告白するなら、主の十字架で私達の罪の償いが完成しているので、神は心から赦して下さい。と同時に、神は、私達が、聖霊なる神に頼って罪から離れる事を喜ばれる。私達は、一人では弱い。共に、縛られている罪から離れられるように祈り合えるなら幸いである。
2. 「怒り、憤り、悪意、そしり、あなたがたの口から出る恥ずべきことばを、捨ててしまいなさい。互いに偽りを言うてはいけません」：8，9。怒り、憤り、悪意、そしり（悪口）、恥ずべきことば、偽りの代わりに、御霊の実である、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制が与えられるように、日々祈りたい。

III 励まし

1. 私達は、自分の力で、これらの罪を殺す事は出来ない。私達の心の中におられる聖霊なる神が助け、罪を捨てる力、罪から離れる力を与えて下さる。「もし肉（罪の性質）に従って生きるなら、あなたがたは死ぬのです。しかし、もし御霊によって、からだの行いを殺すなら、あなたがたは生きるのです」ローマ8：13。信頼できる人と共に祈るなら、父なる神、子なる神、御聖霊は、ますます働いて下さる。「あなたがたのうちふたりが、どんな事でも、地上で心一つにして祈るなら、天におられるわたしの父は、それをかなえてくださいます」マタイ18：19。「御霊の与える剣である、神のことばを受け取りなさい」エペソ6：17。神の御言葉には力がある。礼拝や日々の御言葉で養われ続ける時、霊的な成長、罪から離れ、神に近づく力が与えられる。
2. 「新しい人を着たのです。新しい人は、造り主のかたちに似せられてますます新しくされ、真の知識に至るのです」：10。私達が主を信じ、御聖霊が心に住まれる時、私達に新しいいのち、

性質が与えられ、私達は、新しい人になる。しかし、その時、一度に完全にされるのではない。主の姿に新しくされ続ける恵みが始められたのである。その新しい人は、造り主のかたち（父、子、聖霊なる三位一体の神の聖さと愛と交わりの性質）に似せられて、ますます日々、御聖霊と御言葉により新しくされ続け、真の知識（神ご自身を深く知る知識、神の判断をいただいての善悪の判断する真の知識。※「善悪の知識の木」創世記2：17）に至る。「永遠のいのちとは、彼らが唯一のまことの神であるあなたと、あなたの遣わされたイエス・キリストとを知る（原語：知り続ける）ことです」ヨハネ17：3。神ご自身を深く知る人は、神の何かではなく、神ご自身を慕い、神ご自身を喜び、神との交わりを喜び楽しむ。

3. 「そこには、ギリシャ人とユダヤ人、割礼の有無、未開人、スクテヤ人、奴隷と自由人というような区別はありません。キリストがすべてであり、すべてのうちにおられるのです」：11。「イエス・キリストを信じる信仰による神の義であって、それはすべての信じる人に与えられ、何の差別もありません」ローマ3：22。神の御前、キリストの体である教会、神の家族である教会において、割礼の有無、人種、社会的地位、職業、家柄、年齢、能力、弱さ等による差別は、いっさいない。差別は、キリストによって無効とされた。「あなたがたは私たちの栄光の主イエス・キリストを信じる信仰を持っているのですから、人をえこひいきしてはいけません」ヤコブ2：1。

一人一人が神の前に高価で尊い。一人一人の内にキリストがおられる。

「キリストが神の栄光のために、私たちを受け入れてくださったように、あなたがたも互いに受け入れ合いなさい」ローマ15：7。お互いは、ただの人ではない。お互いに神に愛され受け入れられている大切な存在。神の愛をいただいて、互いに愛し合うことが出来ますように。主を中心にして交わり、祈り合い、支え合える教会が、私達に与えられている恵みは、当然のことではない。心から三位一体の神ご自身と主の体なる教会を心から感謝します。主と主の教会を通しての支えがなければ、今の私達は存在していない。主の恵みを感謝します。